





もったいない食材の カレー化で 食品ロス問題を解消 する会社です





氏名出身

プロフィール

目取眞 興明 (めどるま こうめい) 1990.12

沖縄県那覇市出身 沖縄県立那覇高等学校卒業 東京農業大学国際食料情報学部食料環境経済学科卒

- ◆ 調剤薬局、農業系ベンチャー企業を経て、創業
- ◆ レトルトカレーにはまり累計1500食以上のレトルトカレーを 食べているレトルトカレー研究家
- ◆ 世界の食品ロス問題の解決に挑む





氏 名出 身プロフィール

池谷 和樹 (いけやかずき) 1987.7

埼玉県入間市西三ツ木出身 実家はお茶農家

- ◆ 事業ビジョンに共感してプロボノ参画
- ◆ 本業はエネルギー供給会社にて脱炭素領域の新規事業創出を担当



規格外量 13,100t (推定) 収穫量 52,400t

収穫量は52,400^トン 生産された農作物のうち、 約2割が規格外

13,100 廃棄されていると予想



規格外量 13,100t (推定)

収穫量 52,400t

■ 一食当たり1kgと仮定すると、

1,310万食分の食材が1年間に廃棄されている

■ 1日3食食べると仮定した場合、

約12,000人が一年間で 食べる量となる



レトルトカレーを提供することで食品ロスの問題を解決します 様々な食材をカレー化することが可能です



生産者・食品メーカーなど の**フードロス食材を調達**



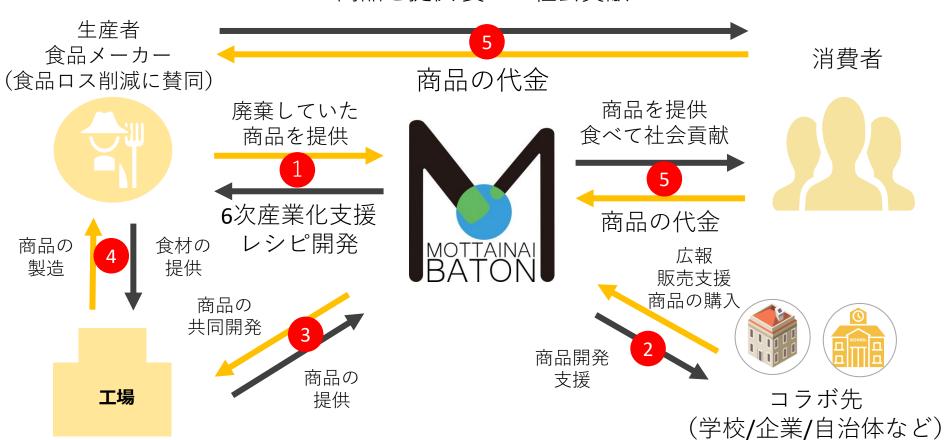
レシピを作成し、味・辛さを食材 に合わせて調理 カレーは肉、魚、野菜、果物、 お菓子などどの食材にもあいます



レトルト化しながらも 新しい価値を加えて **長期保存可能**



商品を提供食べて社会貢献





◆生産者とタイアップ





静岡県御前崎市 後藤農園さん

静岡県のトマト農家とタイアップ発売後、 道の駅での販売とメディア露出が増えて売上UP

◆学校とタイアップ

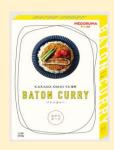




広島県福山市沼南高校さん

子どもたちの自発性を促すキャリア教育の推進授業としてレトルトカレーを開発商品開発をゼロからサポート

◆食品メーカーとタイアップ





東京都日野市豆腐処三河屋さん

豆腐を作ると発生する おからを活用 クラウドファンディング で約132万円、243名 の方にご支援頂いた

◆ 教育事業者とタイアップ





東京都墨田区 株式会社BYDさん

インパクトあるノベルティ を作りたいとご依頼 SDGsに貢献でき取引先 からも好評! 営業のアイテムとして活用



沖縄県内の学校×食品仲卸×スーパー×生産者×コラボレーション

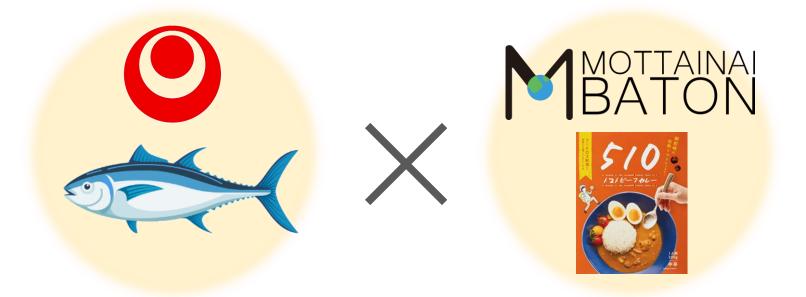


沖縄県内の学校や仲卸業者(沖縄鮮魚卸流通協同組合など)、スーパーや生産者と一緒に事業構築をしていきたいです

【例】 那覇高校さま、坂下水産さま、オキチク商事さま、サンエーさま、かねひでさま



沖縄県内の学校×食品仲卸×スーパー×生産者×コラボレーション



共創の第一歩として、仲卸業者(沖縄鮮魚卸流通協同組合)で発生したもったいないレトルトカレーの開発へ挑戦!



沖縄県内の学校×食品仲卸×スーパー×生産者×コラボレーション



- ✓ 規格外、未利用魚は仲卸業者でも発生している
- ✓ 販売ロスの商品を加工品に使用可能
- ✓ MOTTAINAI BATONでは魚や野菜を活用したカレーの開発実績あり
- ✓ SDGs活動へのPRが可能

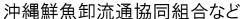
その理由は?



レトルトカレー開発から販売までの実証実験

開発 生產 販売









サンエーさま、 かねひでさま、道の駅などで 販売チャネルを検討





3年後までに実現したいこと

コラボレーションにより実現できること (3年以内に登記も沖縄で行いたいと考えております)



カレーへの加工による 長期保存化⇒廃棄リスク低減



お土産や防災備蓄としての活用



教育機関との連携 食文化継承・地産地消 沖縄県の接点を増やし 新しい産業を構築

3年後までに実現したいこと



沖縄県×MOTTAINAI BATONで地域の活性化と フードロス削減の同時実現を本気で達成したい



CURRY SAVES THE WORLD カレーは世界を救う

カレーが持つ強烈な能力。それは全ての食材をカレーで一体にまとめ上げる調和の力。食材の個性を生かして多種多様な保存カレーを作り"もったいない"を美味しく解決します。

